



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：感染症科 石川 和宏

【研究責任者】

聖路加国際病院 感染症科 石川 和宏

当院で感染症と診断を受けベータラクタム併用療法として抗菌薬を投与された患者さんを対象とした副作用に関する研究

1. 研究の対象

2004年4月から2022年6月までに抗菌薬を使用した患者さんで、ビクシリンS(アンピシリン/クロキサシリン)、ビクシリン(アンピシリン)+セフトリアキソン、ビクシリン(アンピシリン)を投与された方

2. 研究の目的・方法

感染症に罹患した場合、抗菌薬としてベータラクタム系の抗菌薬を使用することが多く、稀に副作用として腎機能障害、皮疹、骨髄抑制などの報告があります。腸球菌による感染性心内膜炎や黄色ブドウ球菌菌血症の方はベータラクタム系の抗菌薬を複数併用して使用することが多いですが、副作用は知られていません。本研究では、ベータラクタム系の抗菌薬を同時に2剤投与された患者さんのデータから、治療中断となった場合の原因などを調べ、将来的な治療の効果に寄与するものです。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。年齢、性別、病歴、既往歴、バイタルサイン、血液検査、画像検査、入院期間、カルテ番号 等